

## 「欧米の進出と日本の開国」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力  
他者とかかわる力

## ① 単元について(単元観・生徒観・指導観)

## 1 単元観

本単元は、次の2つの内容から構成されている。1つ目は、欧米諸国における17～19世紀の近代革命・産業革命を経た発展とアジア侵略の様子である。2つ目は、開国と不平等条約、その影響で幕藩体制が動揺し、江戸幕府の滅亡によって近世封建社会が崩壊していく過程である。欧米諸国によるアジア侵略は、日本にも伝わってきており、日本にもアメリカをはじめとして多くの欧米諸国が接近してきた。ペリー来航によって幕府がそれまでの鎖国政策をやめ、開国したことによって、外国の制度や文化が日本に取り入れられ、貿易が盛んに行われるようになった。また、日本にとって不利な条約を武力を背景に結ばされることにもなった。そのことによって、幕府の権威が失墜したり、物価が高騰して政治や経済の混乱を招いた。その後、幕府は倒れ、幕府が日本全体の政権をとり、二百数十の藩が地域ごとに政治を行う幕藩体制から、天皇を中心とした中央集権体制へと変化していった。

本単元の学習を通して、学習指導要領の目標(3)に示されているように、歴史にみられる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせる。また、目標(4)に示されているように、様々な資料を活用して、歴史的な事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

本単元は、欧米諸国と日本の様子を関連付けることで、国際的な視点から日本の社会が近世から近代へと転換した背景を考察させ、歴史の大きな流れを理解させることができる単元である。

## 2 生徒観

授業に関するアンケートを11月に実施した。

項目	肯定回答割合
1. 授業はわかりやすいと思う。	94.3%
2. 自分から課題を解決しようとしています。	91.4%
3. 学び合い(グループやペア学習等)により、学習内容の理解を深められています。	88.6%
4. 自主ノートにその日に学習した事をまとめています。	88.6%

歴史の授業に対する事前アンケートを1月に実施した。

項目	肯定的回答	否定的回答
1. 歴史の学習は好きである。	78%	22%
2. 歴史の学習は得意である。	53%	47%
3. 資料をもとに、自分の考えをまとめ、説明する問題は得意である。	38%	62%

アンケートの結果から、授業に対しては意欲的に取り組むことができている。しかし、歴史が得意であるという項目に否定的な回答をした生徒の約8割が人名や用語が多いため覚えることができない、文章で表現することができない、どの資料を使うことが正しいことなのかかわからないと複数回答した。資料をもとに、自分の考えをまとめ、根拠を明確にして説明することのできる生徒が38%と低い割合である。授業のまとめとして、ノートに自分の考えを書かせる場面を設定しているが、アンケートの結果にはつながっていない。主体的に授業に取り組むことはできているが、資料を適切に判断し、根拠を明確にし、自分の考えを積極的に説明することができていない生徒が見受けられることが課題である。

### 3 指導観

小学校第6学年の歴史の授業において、ペリーの人物像や黒船で日本に来航したこと、開国を迫ったことなど基本的な学習内容は理解している生徒がクラス内で約9割である。指導にあたっては、小学校の学習とのつながりから生徒が興味を持ち、グループ学習や個人思考を通して、開国したことの是非についての課題を発見し、自らの力で解決することができるような主体的な学習ができるような授業にしたい。

パフォーマンス課題である「江戸時代の終わりごろ、日本はアメリカから開国を迫られました。結果としては開国したのですが、その判断は正しかったのかどうか、諸外国の様子や開国後の日本の変化を踏まえて、根拠とともに説明しなさい。」を通して、欧米諸国によるアジア進出が原因で開国したということだけでなく、その後の日本国内において、政治的、経済的にも大きな影響を及ぼした。その結果、江戸幕府滅亡という結果につながったことを大観させたい。

また、資料の中から適切な資料を選択し、その資料などから根拠を明確にし、自分の考えを説明することができる力を身に付けさせるようにしたい。

## ② 単元の目標と身に付けさせたい力について

### 1 単元の目標

- (1) 欧米諸国のアジア進出や開国があたえた影響について意欲的に追究することができる。
- (2) 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、多面的・多角的に考察することができる。
- (3) 欧米諸国のアジア進出や開国があたえた影響について資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめることができる。
- (4) 欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解することができる。

### 2 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 技能	エ 知識・理解
欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に対する関心を高め、意欲的に追究している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に関する絵画、グラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめている。	欧米諸国のアジアへの進出を背景に、我が国の開国とその影響を理解し、知識を身に付けている。

### 3 本単元で育成を目指す資質・能力

#### (1) 本校の設定した資質・能力と本単元との関わり

資質・能力		特に身に付けさせたい力	本単元での育成・評価
知識・技能	知	①学習したことを自ら語れる力（知の構造化）	○
思考力・判断力・表現力	思	①根拠をもとに、正しい判断をする力（論理的思考力）	○
		②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力（批判的思考力）	○
		③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力（言語力）	○
主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	○
他者とのかかわる力	他	①他者と協力して、課題を解決したり、目標に向かって取り組んだりする力	○
		②他者とのかかわりを通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする力	○
社会貢献力	社	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	—
自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	—
		②自信を持つ力	—

(2) 本単元で本校の設定した資質・能力を身に付けさせるための手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
知-①	めあてに対するまとめを自分の言葉で書かせる。
思-①	資料から分かることなどの具体的な根拠を持って説明させる。
思-②	グループでの話し合いで、他の人の意見に対する質問や自分の意見を述べさせる。
思-③	ペアやグループの話し合い、学級全体での発表など、表現する機会を多く取り入れる。
主-①	既習事項とのずれを感じさせるような事象を提示する。
他-①	グループ活動やペア活動を取り入れる。
他-②	様々な意見が出るような発問を工夫する。

### ③ 単元計画

1 単元の全体像（Ⅰ：学習内容，Ⅱ：学習活動，Ⅲ：単元として生徒に身に付けさせたい力）

Ⅰ	17～19世紀の欧米諸国やアジアの様子と幕末の日本の様子について，Ⅱ
	欧米諸国の発展およびアジア進出と日本への影響とを関連付けて考察させることを通して，Ⅲ
	国際的な視点から歴史の大きな流れをとらえる力を身に付ける。

2 単元の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準
あなたは瓦版の記者です。日本はアメリカから開国を迫られました。結果としては開国したのですが、その判断は正しかったのかどうか、諸外国の様子や開国後の日本の変化を踏まえて、根拠とともに説明しなさい。	A 開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化および開国後の日本の変化を踏まえた根拠（事実とその影響）とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	B 開国すべきかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化または開国後の日本の変化を踏まえた根拠（事実）とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	C 根拠として、欧米諸国の進出によるアジアの変化や開国後の日本の変化を踏まえていない。適切な資料を示していない。

3 学習内容と評価の計画

学習過程	時	<input type="radio"/> 本時のめあて <input checked="" type="radio"/> 学習内容	評 価				
			関	考	技	知	
課題の設定	1	<input type="radio"/> これから学習する時代はどのような時代か予想しよう。 <input checked="" type="radio"/> 小学校での学習の振り返り、時代の特色の予想、パフォーマンス課題の設定	○				ア これから学習する時代について、 <b>時代の特色を意欲的に追究しよう</b> としている。 （行動観察）【主-①】
整情報・の 分収析集	2	<input type="radio"/> イギリスやフランスの政治がどう変化したか、理由とともに説明しよう。 <input checked="" type="radio"/> イギリス革命とフランス革命				○	エ ヨーロッパ諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し、その知識を身に付けている。（ノート）【知-①】

	3	○アメリカの政治がどう変化したか、出来事とともに整理しよう。 ●アメリカの独立と南北戦争				エ ○アメリカ合衆国が独立・発展していく過程を理解し、その知識を身に付けている。 (ノート) 【知-①】
	4	○産業革命がヨーロッパの国々にどのような影響を与えたか考えよう。 ●ヨーロッパにおける産業革命		○		イ 産業革命を経て、産業や社会の仕組みが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 (ノート) 【思-②】 【他-②】
まとめ・表現・創造	5	○ヨーロッパの国々は、なぜアジアを侵略したのか考えよう。 ●ロシアの拡大とヨーロッパのアジア侵略			○	イ ヨーロッパ諸国のアジア侵略について、その理由や背景を考察している。 (ノート) 【思-①】
情報・の分析	6	○日本は開国によって、アメリカとどのような関係になったのか考えよう。 ●開国と不平等条約			○	ウ 条約の内容や不平等な点について、資料から読み取り、適切にまとめている。 (ノート) 【知-①】
	7	○開国によって日本の社会がどう変化したか資料から読み取ろう。 ●尊王攘夷運動と開国の影響			○	ウ 尊王攘夷運動の高まりや開国の経済的影響について、グループで協力して資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 (ノート) 【他-①】 【思-②】
まとめ・表現・創造	8	○江戸幕府がどのようにして滅亡したのか説明しよう。 ●江戸幕府の滅亡			○	エ 開国後、倒幕に至るまでの過程を理解し、その知識を身に付けている。 (ノート) 【知-①】
振り返り	9	○開国という判断は正しかったのか、根拠とともに説明しよう。 ●日本の開国に対する是非を判断する【本時】			◎	イ 開国が正しかったかどうか、適切な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 (ワークシート) 【思-①】 【思-③】

## ④ 本時の学習

### 1 本時の目標

欧米諸国の発展とアジア侵略および日本の開国についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、開国が正しかったかどうかについて、適切な資料をもとに多面的・多角的に考察することができる。

### 2 本時の評価

評価規準 (評価の観点)	評価基準	
イ 開国が正しかったかどうか、適切な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 (ワークシート) 【思-①】 【思-③】	A	開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化および開国後の日本の変化を踏まえた根拠 (事実とその影響) とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	B	開国すべきかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化または開国後の日本の変化を踏まえた根拠 (事実) とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	C	根拠として、欧米諸国の進出によるアジアの変化や開国後の日本の変化を踏まえていない。適切な資料を示していない。

3 準備物

資料カード，ワークシート，ホワイトボード，マーカー

4 学習展開（9 限目/9）

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
学習活動		指導上の留意点			評価規準 (評価方法) 【資質・能力】	
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の復習をする。 (K)…くり返し挑戦する)</li> <li>本時の流れと課題を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な用語や出来事などを発表させる。</li> <li>本時の流れと課題の評価基準を確認する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時のめあて】 開国という判断は正しかったのか，根拠とともに説明しよう</p> </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しかったとする理由と正しくなかったとする理由を考える。 (J)…じっくり考える)</li> <li>それぞれの理由を発表する。 (H)…はっきり表現する)</li> <li>発表をもとに，自分の考えをワークシートに書く。 (J)…じっくり考える)</li> <li>考えを発表する。 (H)…はっきり表現する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う資料を複数用意しておき，正しい方と正しくない方に分類させる。 (資料) アヘン戦争，高杉晋作が見た清，日米和親条約，日米修好通商条約，貿易額の推移，貨幣の改鋳，物価の高騰など</li> <li>正しかったとする理由を考えるグループと正しくなかったとする理由を考えるグループに分ける。</li> <li>個人思考をさせた後，グループでまとめさせる。</li> <li>2グループずつ指名して発表させる。 予想される反応 正しかったとする理由 (例) アヘン戦争に敗北した清国のように領土をとられてしまうから。 正しくなかったとする理由 (例) 日本国内の物価が上昇して庶民の生活が苦しくなったから。 不平等条約を結ばされたから。</li> <li>根拠にする資料を上記の中から選ばせる。</li> <li>根拠となる資料を提示して，自分の考えを発表させる。 予想される反応 正しかったとする理由 (例) 南京条約や高杉晋作の資料から，アヘン戦争に敗北した清国のように不平等条約を結ばされただけでなく，領土をとられてしまったから。 正しくなかったとする理由 (例) 不平等条約や開国の影響の資料から，日本国内の物価が上昇して庶民の生活が苦しくなったから。</li> </ul>	<p>イ開国が正しかったかどうか，適切な資料をもとに，多面的・多角的に考察し，適切に表現している。 (ワークシート) 【思－①】 【思－③】</p>			

まとめ (5分)	・振り返りを書く。	・ 2～3名に発表させる。 予想される反応 (例) 他の方の意見を聞いて、自分の考えをまとめることができた。 資料を使って、開国が正しかったかどうか自分の考えを発表することができた。	
-------------	-----------	--	--